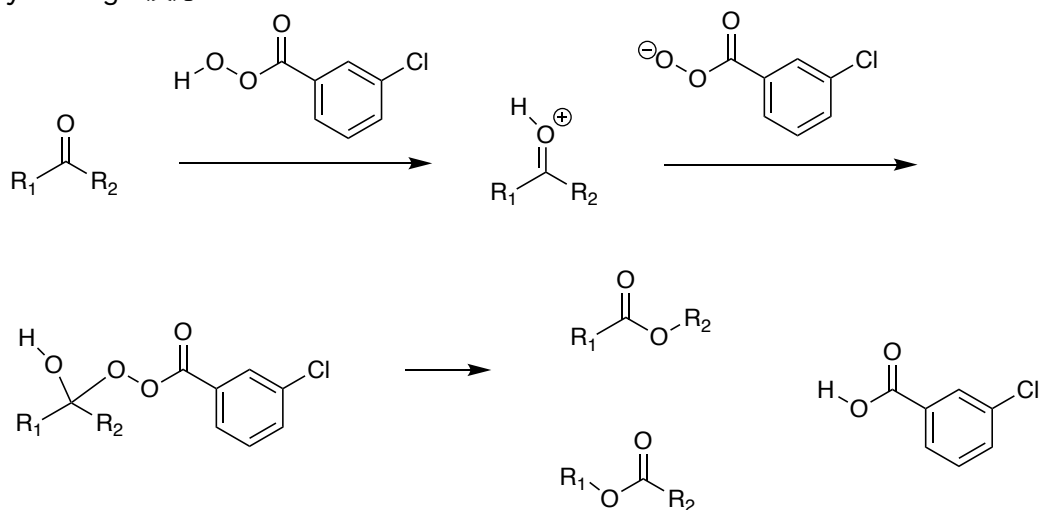
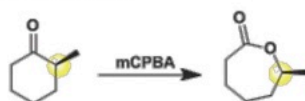


第6章 選択性II- 位置選択性 -

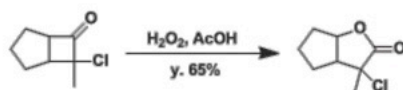
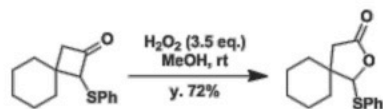
6.8 Baeyer-Villiger反応



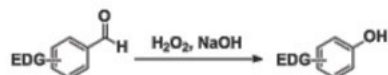
- 例^[1]) 転位する炭素の立体化学は保持される。



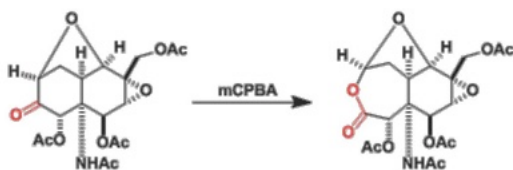
- 例^{[2][3]}) Baeyer-Villiger酸化は通常電子豊富な炭素から優先的に転位する。



- Vilsmeier反応などで容易に調整できるベンズアルデヒド誘導体は、Baeyer-Villiger条件で酸化を受け、引き続き加水分解を経る事でフェノールへ変換できる(**Dakin反応**)^[4]



- Tetrodotoxinの合成における適用例^[5]



- 有機分子触媒を用いる触媒的不斉Baeyer-Villiger酸化^[6]

